

個人投資家の皆様へ

オンライン会社説明会

2024年6月24日(月)

日本たばこ産業株式会社(証券コード:2914)

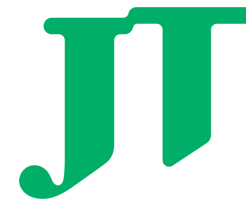
執行役員

Chief Financial Officer、
Corporate Communications担当

古川 博政

- 01 JTグループの概要
- 02 経営理念・JT Group Purpose
- 03 D-LABの取組み
- 04 経営計画2024
- 05 株主還元
- 06 サステナビリティ

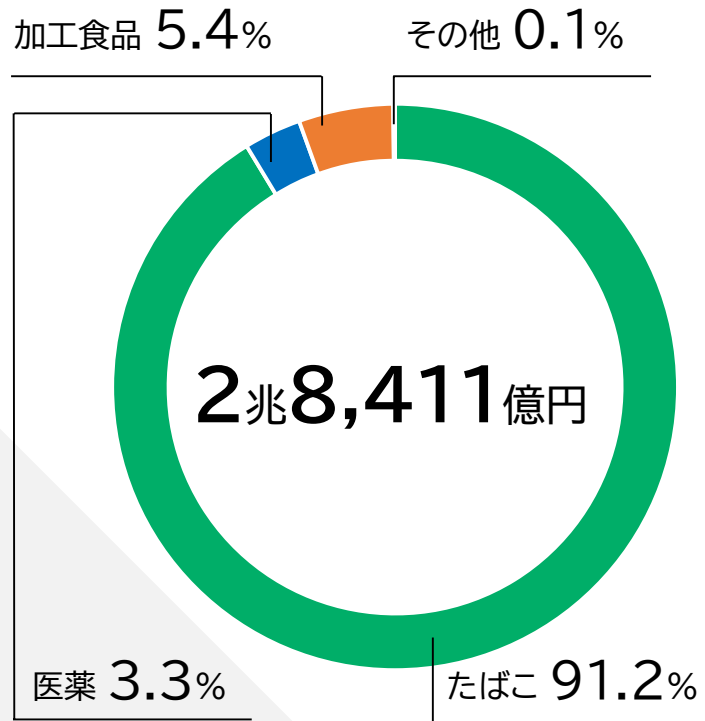
01



JTグループの概要

JTグループは、130以上の国と地域で製品を販売するグローバルたばこメーカーです。
たばこ事業に加え、医薬事業と加工食品事業も展開しています。

売上収益構成比(2023年度)



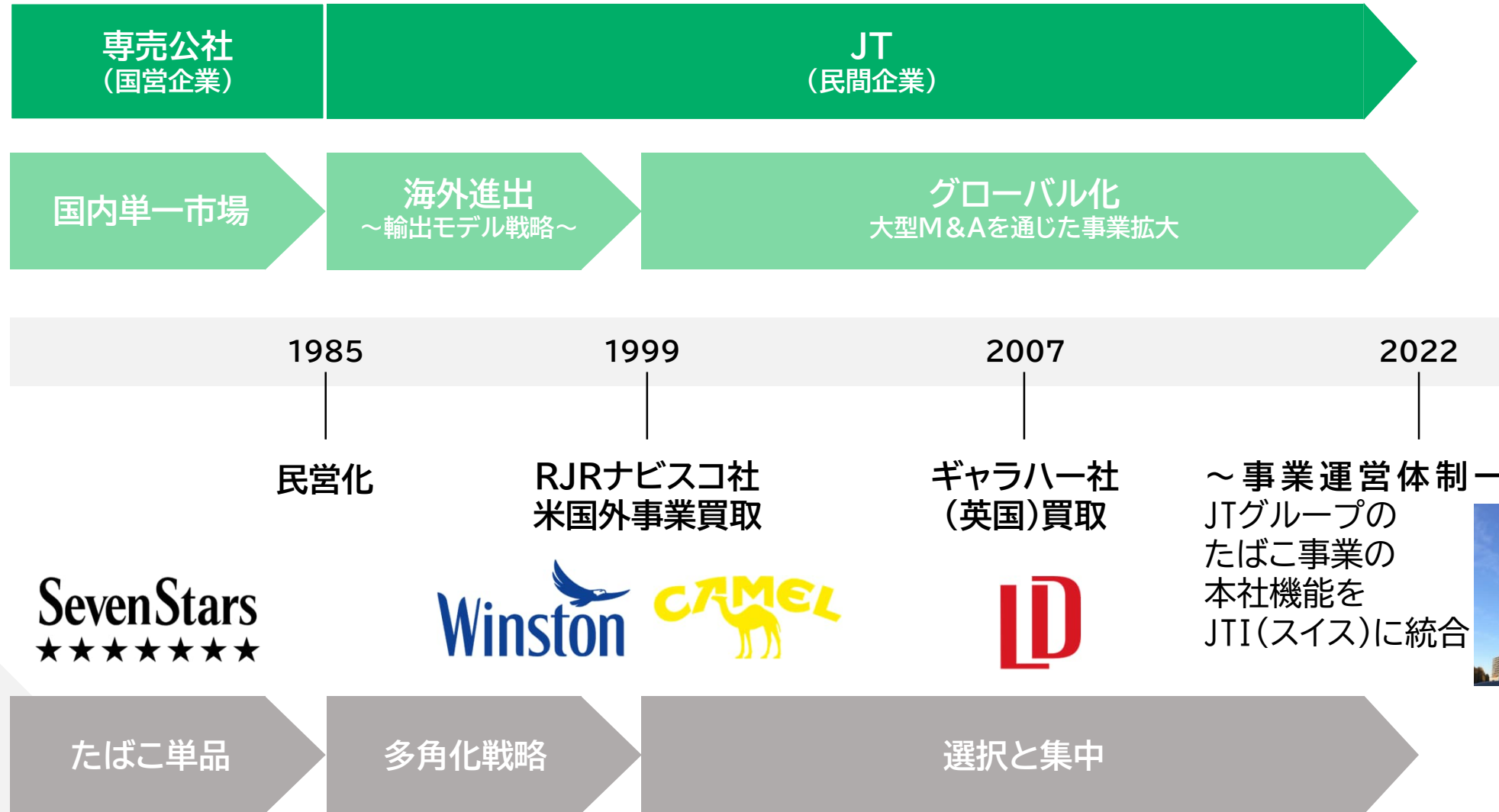
たばこ事業



医薬事業



加工食品事業

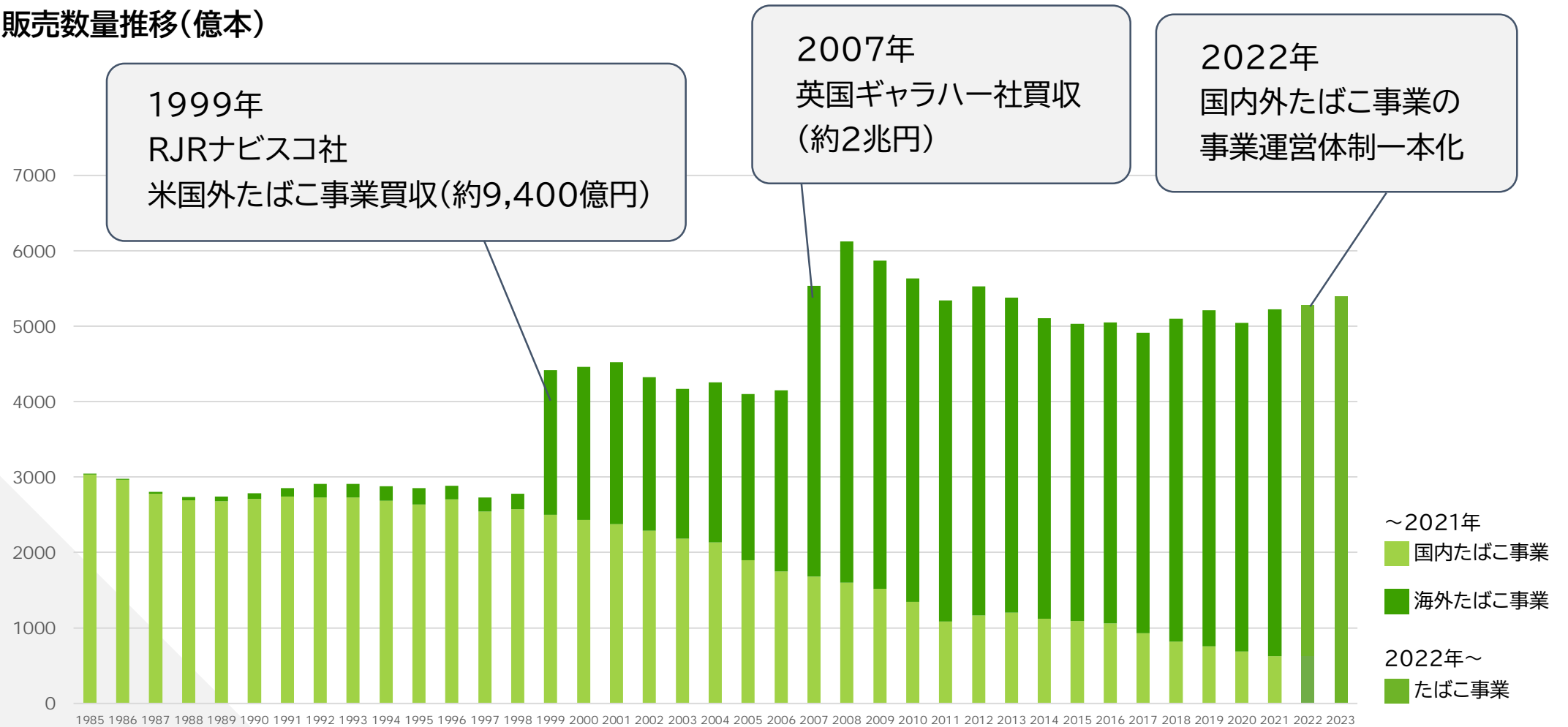


たばこ・医薬・加工食品の3事業体制

※本スライドは、JTグループの事業活動を説明するためのものであり、当社グループの製品について、消費者への販売促進もしくは使用を促す目的のものではありません。

大型買収を通じたグローバル化

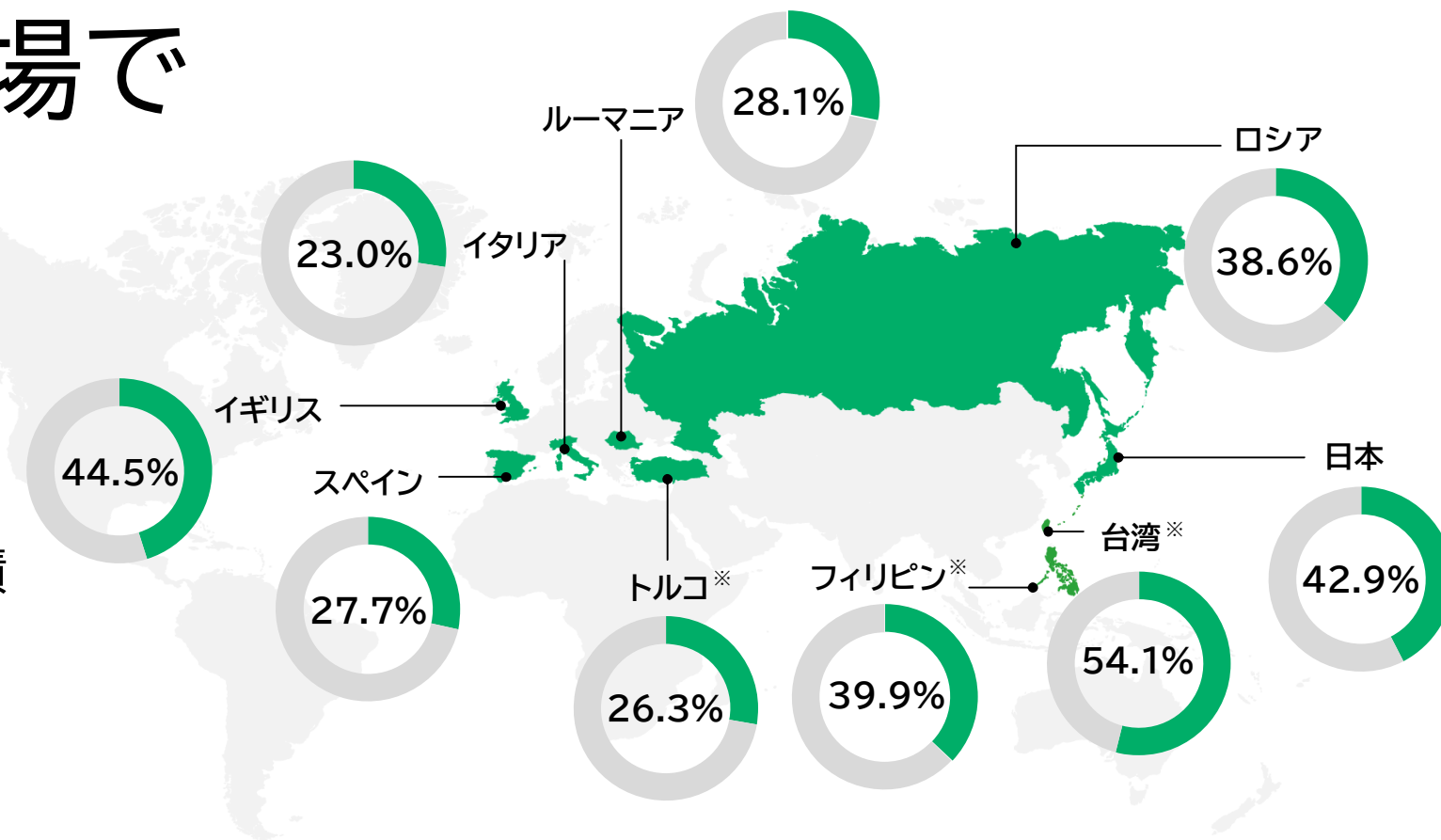
販売数量推移(億本)



出典:JT調べ

世界の主要市場で 強固な シェアを獲得

たばこ市場における
主要市場シェア2023年度実績



※フィリピンと台湾は可燃性のたばこ製品のための市場シェア、トルコは紙巻たばこのみの市場シェアです

たばこ製品の広がり

燃焼性の
たばこ製品

紙巻たばこ
(シガレット)



葉巻
(シガー)



その他パイプ、
煙管など



RRP
(喫煙に伴う健康リ
スクを低減させる可
能性のある製品)

※1
HTS
(Heated Tobacco
Sticks)



※2
インフューズド



その他電子たばこ
(E-vapor)、
無煙たばこなど



※1 高温加熱型の加熱式たばこ製品

※2 液体を加熱することで発生させた蒸気をたばこカプセルに通過させ、たばこ蒸気を愉しむ製品

02



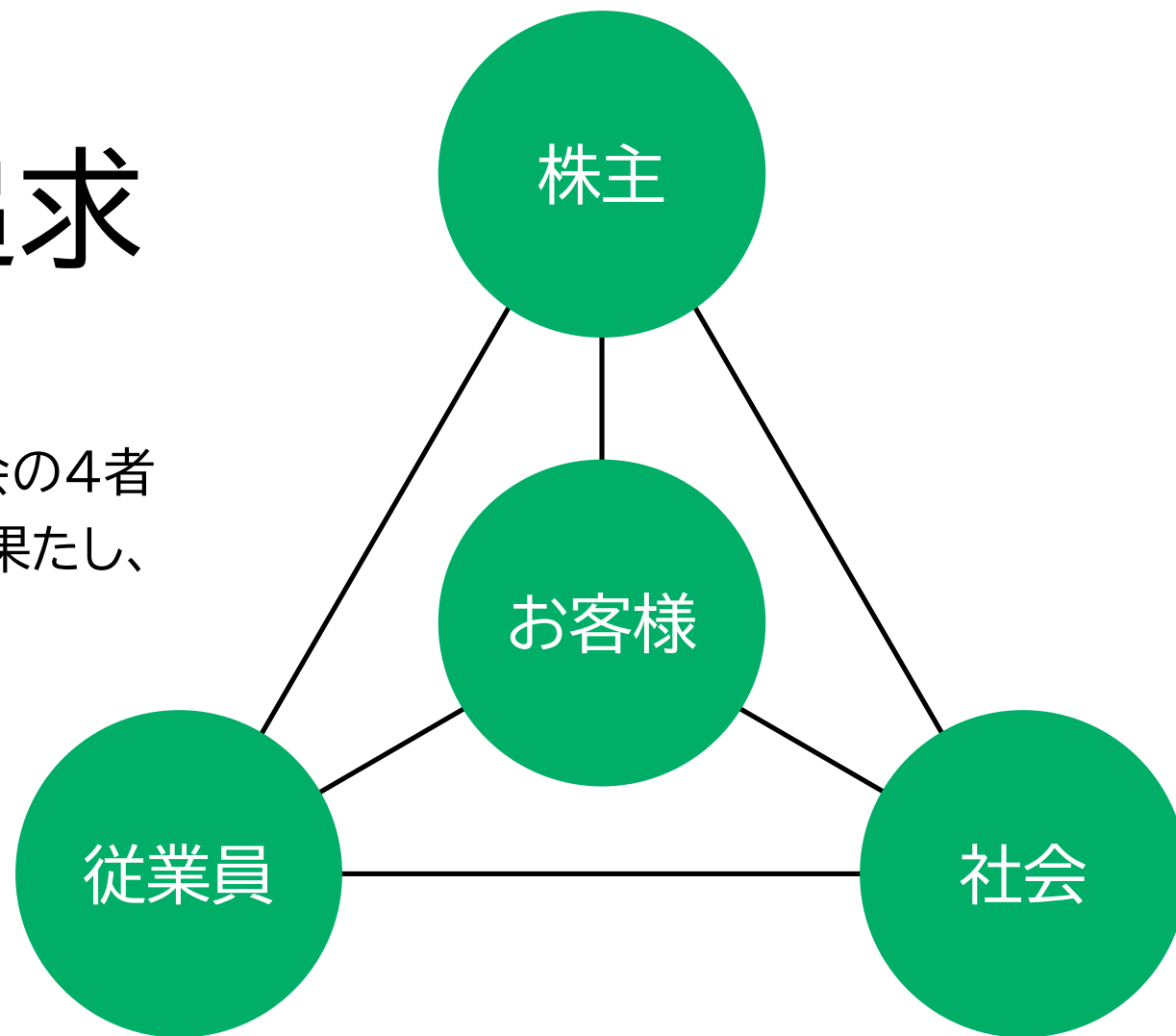
経営理念・

JT Group Purpose

「4Sモデル」の追求

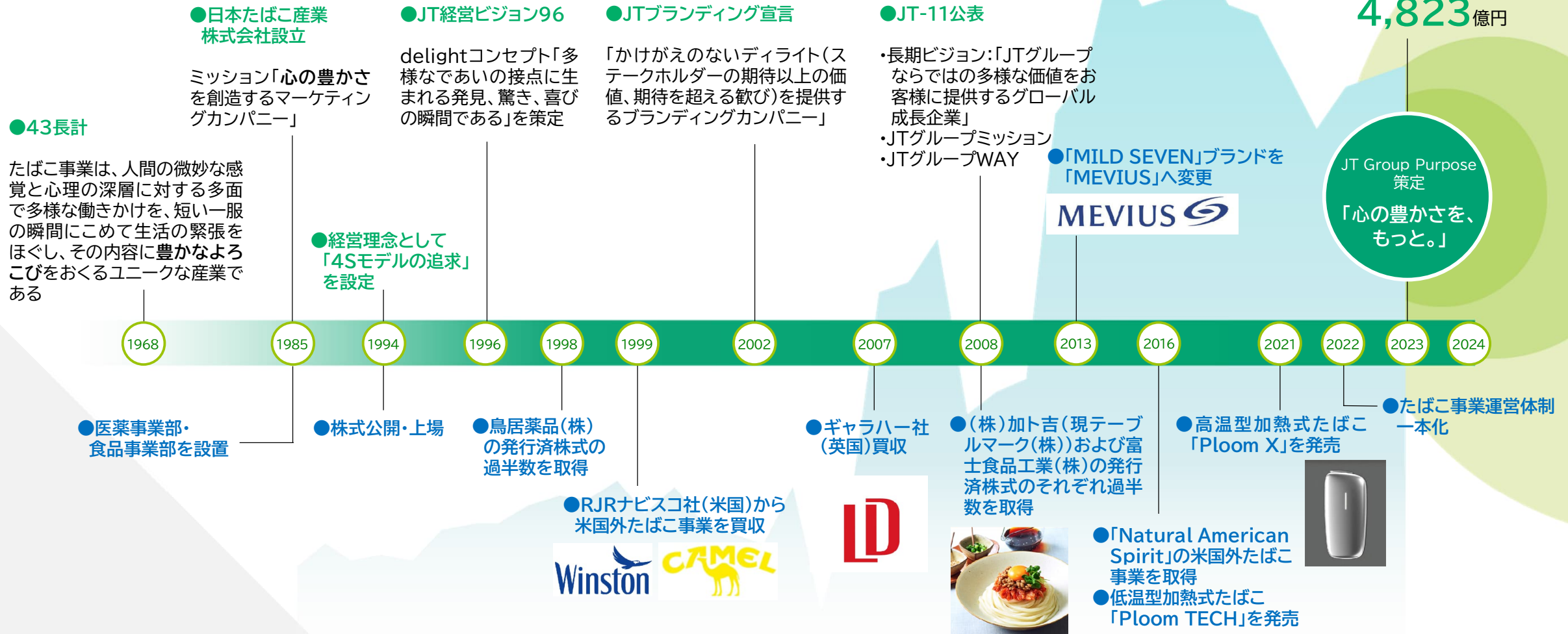
企業理念

お客様を中心として、株主、従業員、社会の4者に対する責任を高い次元でバランスよく果たし、4者の満足度を高めていく



心の豊かさを、
もつと。

●JTグループアイデンティティ(大切にしてきた価値) ●アクション



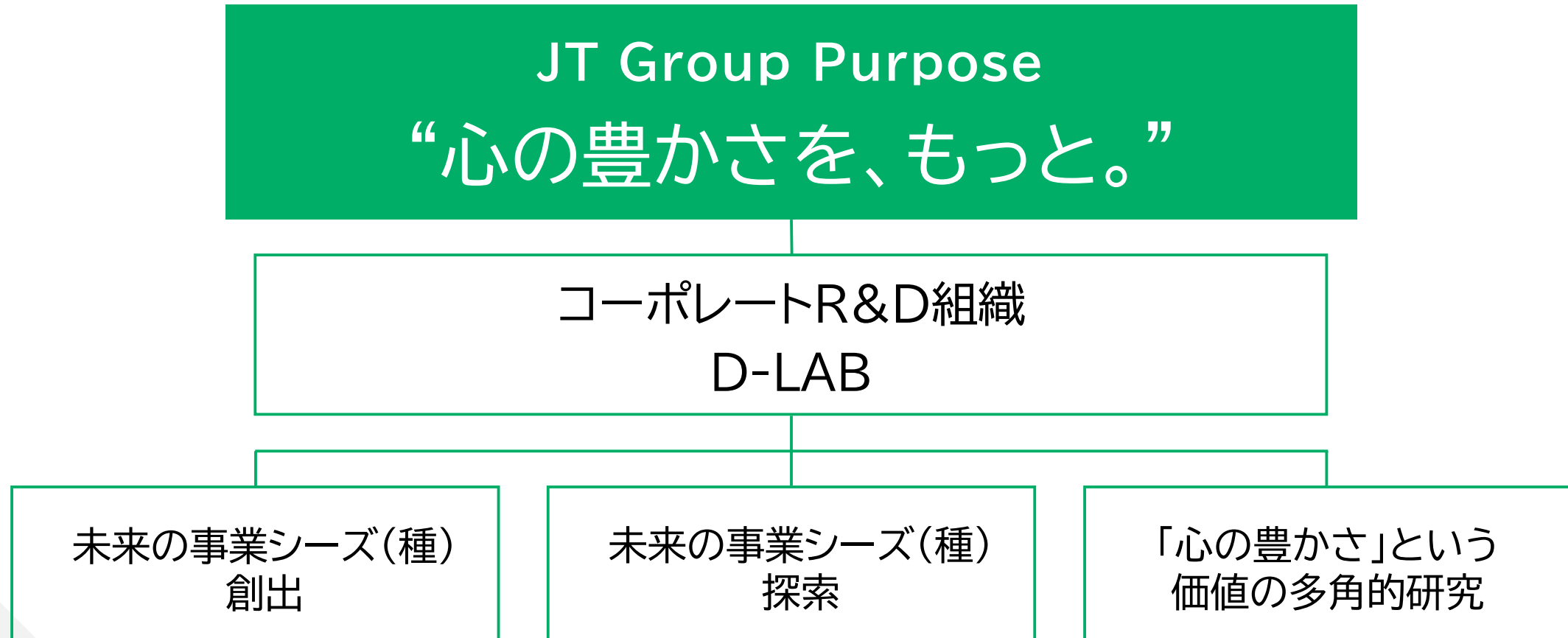
当期利益
4,823 億円

※本スライドは、JTグループの事業活動を説明するためのものであり、当社グループの製品について、消費者への販売促進もしくは使用を促す目的のものではありません。

03



D-LABの取組み



長期視点で社会の「心の豊かさ」を育むことに貢献し、
JTグループの利益成長への貢献も目指す



呼吸するクッション
「fufuly」

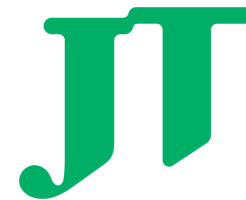


ノンアルコールドリンクの
ための新テクノロジー
「COLDRAW」



深呼吸の習慣化を
サポートするツール
「ston s」

04



経営計画2024

全社為替一定の調整後営業利益： 中長期に亘る年平均 一桁台半ばから後半の成長実現

RRP投資の加速に伴い2024年は前年同水準となるものの、2024-26年では年平均 一桁台半ばの成長を見込む

JTグループの利益成長の中核かつ牽引役

たばこ事業

燃焼性のたばこ製品における売上高の成長
及びHTSへの優先的な投資

- 成長投資の実行及び燃焼性のたばこ製品における収益性の継続的な改善
- HTSを最優先としつつ、他のRRPカテゴリにおいても選択的な投資を実施
- 組織力の強化

JTグループの利益成長を補完

医薬事業

次世代戦略品の研究開発
及び各製品の価値最大化

加工食品事業

収益性の高い
トップライン成長の実現




Creating fulfilling moments, Creating a better future.

燃焼性のたばこ製品 売上高の最大化と収益性の改善

- ✓ 継続的なシェア獲得
- ✓ 価格戦略機会の最大化
- ✓ 投資規律の強化



2024年からの3カ年において、JTの可燃性のたばこ製品における成長は、販売数量/売上収益ともに市場全体の見通しを上回る実績となる見込み

2024-2026 可燃性のたばこ製品推移		
	販売数量	売上収益
産業全体	-2.6%	+1.8%
	 <p>※ 旗艦ブランド の牽引による シェア伸張</p>	 <p>価格戦略 機会の捕捉</p>
	-1.5 ~ -0.5%	1桁%台半ば

※Winston、Camel、MEVIUS、LDの4ブランドが含まれます

Creating fulfilling moments, Creating a better future.

RRP

HTSへの経営資源の集中的な投入

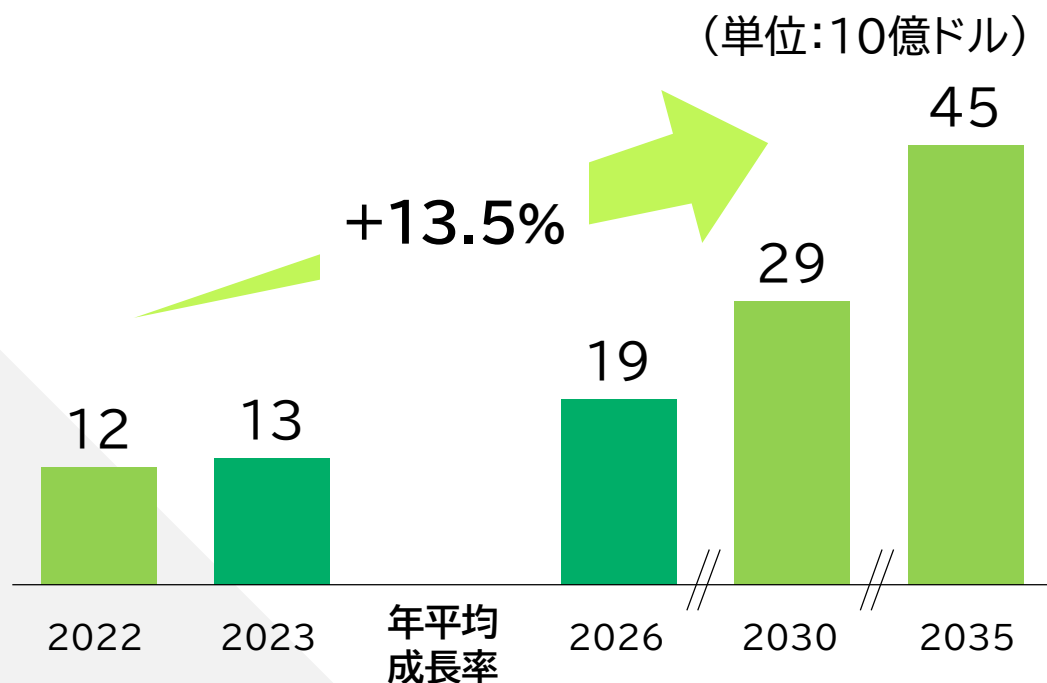
- ✓ Ploom Xの地理的拡大
- ✓ 組織力の強化
- ✓ HTSとは異なる製品の探索



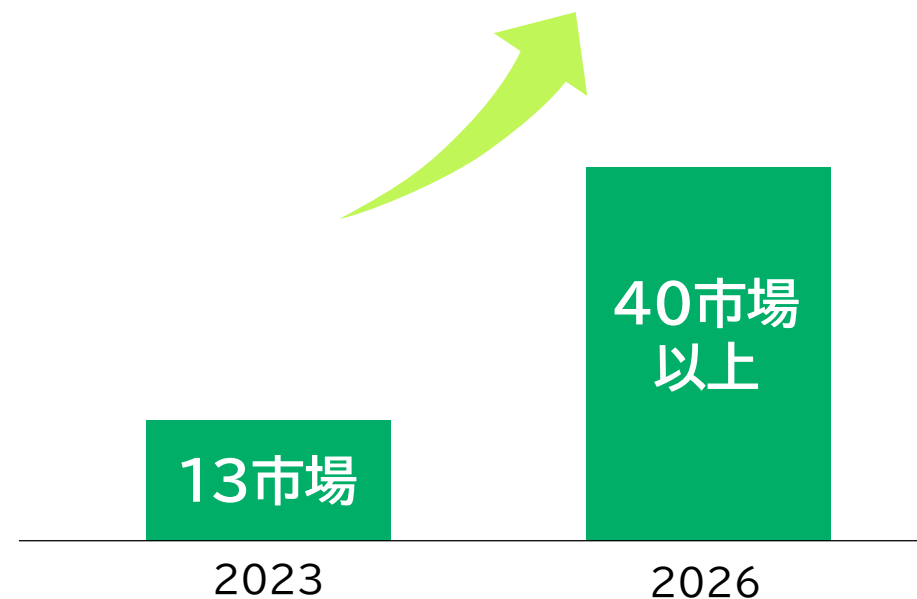
2024年からの3カ年において、JTのRRP売上収益は約2.5倍に増加し、年間13.5%成長である市場成長率を上回る実績となる見込み

また、HTSの地理的拡大により、2026年末までに40以上の市場でPloom Xを展開する予定

HTS市場全体の売上収益市場規模



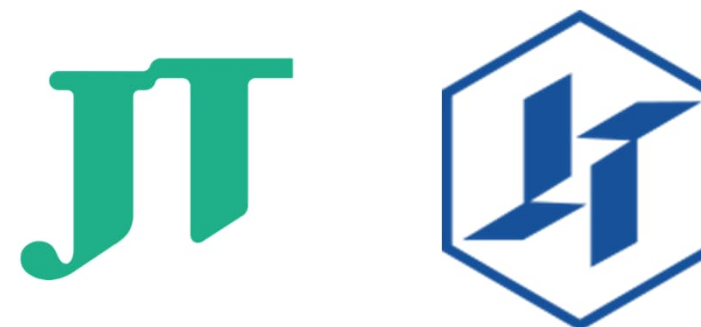
Ploom X の展開市場数



科学、技術、人財を大切にし、
患者様の健康に貢献します。

次世代戦略品の研究開発及び
各製品の価格最大化

- ✓ 創薬力の向上とユニークな
パイプライン構築
- ✓ 国内市場における収益基盤強化
- ✓ 中長期的な事業基盤最適化による
生産性向上



食事をうれしく、食卓をたのしく。

収益性の高い トップライン成長の実現

- ✓ 事業環境変化に対応した価格改定
施策の着実な遂行
- ✓ 高付加価値な商品群への資源配分の
強化
- ✓ 中長期的視点での事業成長に向けた
取組みの加速



(億円)	2024年度 見込	前年度比 増減	前年度比
為替一定ベース			
Core revenue	28,360	+1,072	+3.9%
調整後営業利益	7,280	▲0	-0.0%
財務報告ベース			
売上収益	30,160	+1,749	+6.2%
調整後営業利益	6,880	▲400	▲5.5%
営業利益	6,480	▲244	▲3.6%
当期利益	4,550	▲273	▲5.7%
フリー・キャッシュ・フロー	3,600	▲837	

注：IAS第29号超インフレ会計の適用に伴い、上記の表に記載の財務報告ベースの見込は超インフレ会計の影響を含みます。

売上収益・調整後営業利益

為替一定調整後営業利益は
前年同水準を見込む

営業利益・当期利益

いずれも前年度比で減益を見込む

フリー・キャッシュ・フロー

前年度比で大幅な減少を見込む

(億円)	2024年 1-3月	前年同期比
為替一定ベース		
Core revenue	6,767	+5.7%
調整後営業利益	2,310	+3.4%
財務報告ベース		
売上収益	7,403	+11.3%
調整後営業利益	2,267	+1.5%
営業利益	2,158	+4.6%
四半期利益	1,573	+8.7%

注：IAS第29号超インフレ会計の適用に伴い、上記の表に記載の財務報告ベースの実績は超インフレ会計の影響を含みます。
為替一定ベースの実績は、特定市場のハイパーインフレーションに伴う売上及び利益の増加分について、一定の算定方法を用いて控除しています。

売上収益・調整後営業利益

いずれも前年同期比で増収・増益

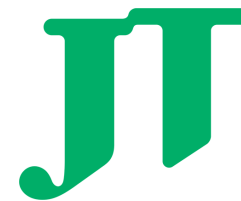
営業利益

前年同期比で増益

四半期利益

前年同期比で増益

05



株主還元

■ 強固な財務基盤¹を維持しつつ、中長期の利益成長を実現することにより株主還元の向上を目指す

■ 株主還元については、一株当たり配当金を中心とする

■ 資本市場における競争力ある水準²として、配当性向75%を目安³とする

■ 自己株式の取得は、当該年度における財務状況及び中期的な資金需要等を踏まえて実施の是非を検討

1. 経済危機等に備えた堅牢性、及び機動的な事業投資等への柔軟性を担保
2. ステークホルダーモデルを掲げ、高い事業成長を実現しているグローバルFMCG(Fast Moving Consumer Goods)企業群の還元動向をモニタリング
3. ±5%程度の範囲内で判断

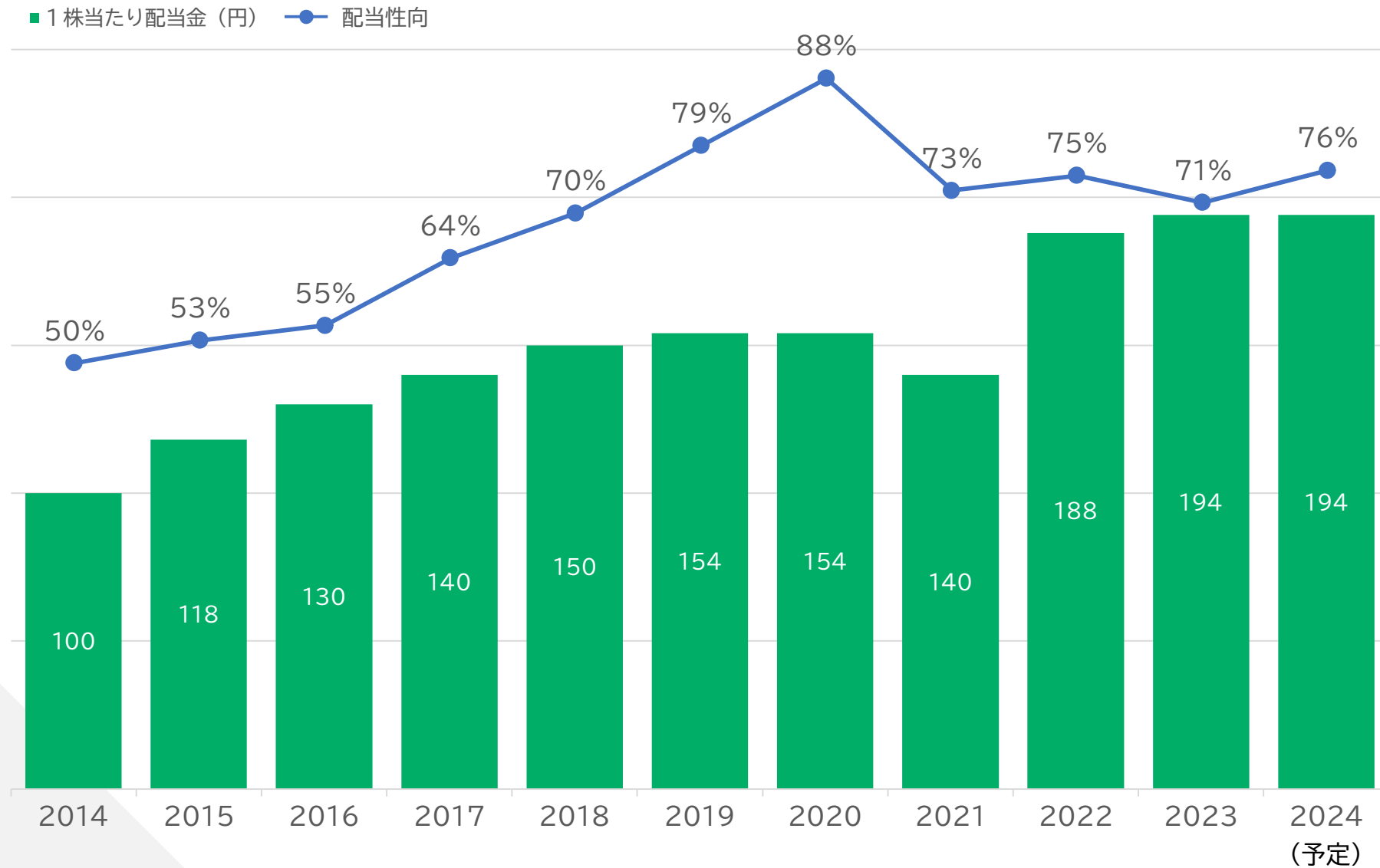
一株当たり

年間配当金は
194円(予想)

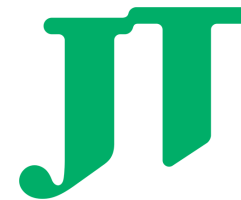
中間配当97円(予想)

期末配当97円(予想)

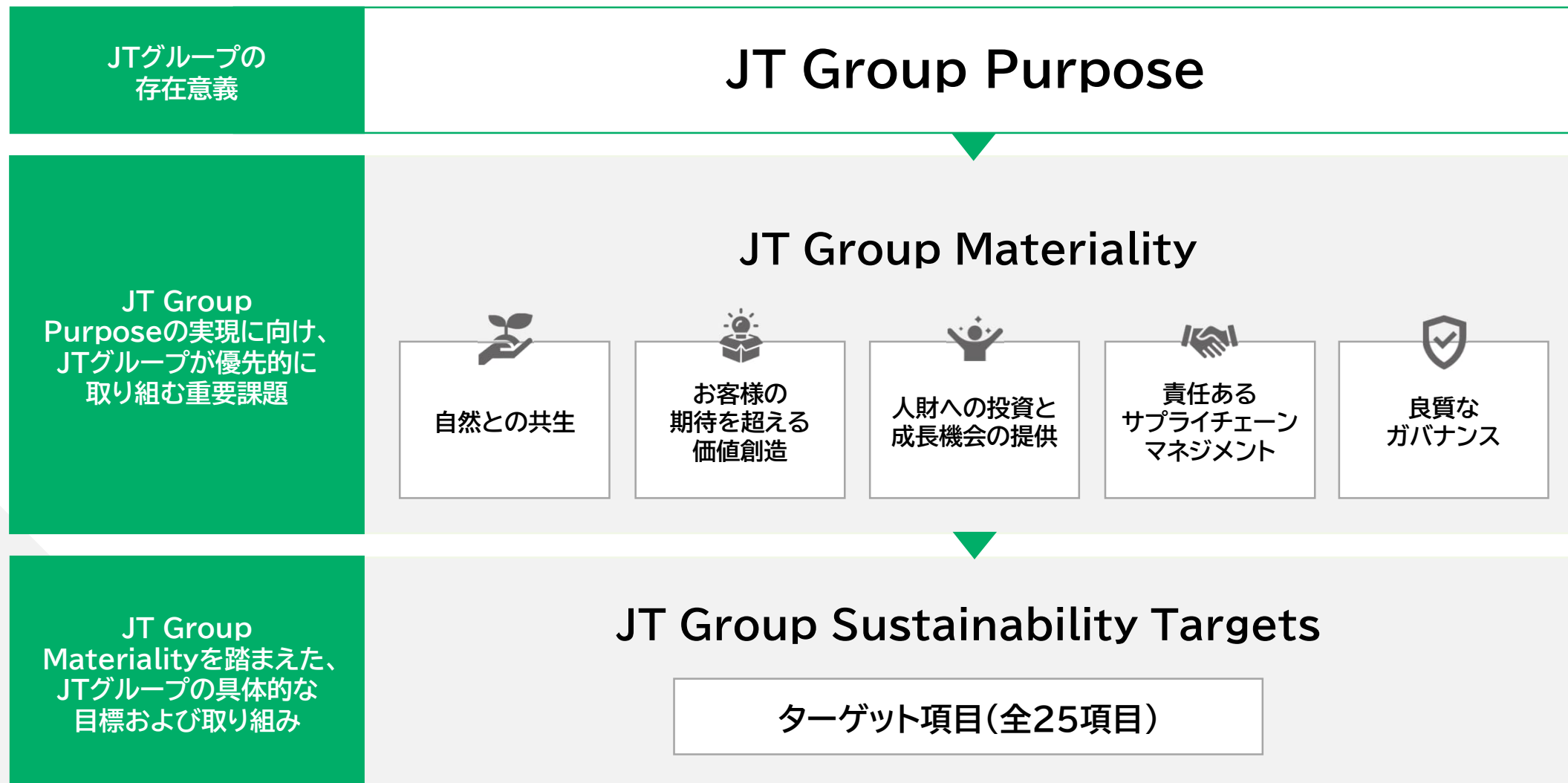




06



サステナビリティ



JT Group Materiality

自然や社会と人の暮らしはつながっており、自然や社会が持続可能であってはじめて、人の暮らしや企業の活動も持続可能となります。

JTグループはJT Group Purposeの具現化を通じて持続可能な自然や社会づくりに貢献していくために、以下のマテリアリティ(重要課題)に取り組んでいきます。



自然との 共生

自然環境に与える影響の改善に向けた取り組みを通じて、自然と人や企業の健全な関係性を保全



お客様の期待を 超える価値創造

お客様の期待を超える多様な製品・サービスを創出



人財への投資と 成長機会の提供

人財の多様性に着目した成長支援を含む人財への投資や、多様な個性がその能力を最大限発揮できる組織風土の醸成を通じた人的資本の拡充



責任ある サプライチェーン マネジメント

人権尊重や自然環境保全など多様化する社会課題への適切な対応を通じ、事業環境の急激な変化に耐えうる持続可能なサプライチェーンを構築



良質な ガバナンス

さまざまなステークホルダーの満足度を高め、信頼される企業体であり続けるためのガバナンスの充実

JT Group Sustainability Targets



生態系影響評価の実施



温室効果ガス排出量の削減



再生可能エネルギーの活用



責任ある水資源マネジメント



森林資源の保全



廃棄物による環境負荷の低減



製品および容器包装リサイクル



持続可能な農業



RRP展開市場の拡大



リスク低減に係る科学的知見の発信



未成年者喫煙防止対策



FIC(ファースト・イン・クラス)
医薬品の創出



フードインクルージョンへの貢献



DE&Iの推進



人財の戦略的な確保



働きやすい環境の整備



心身の安全・健康の推進



自律的な成長の支援



社内外との共創の促進



サプライヤースクリーニングおよび
デュー・ディリジェンスの推進



たばこ農家の生活収入



児童労働を含む人権モニタリング



グリーンバンス・メカニズム



コミュニティインベストメント



事業特性に即した内部統制

JT Group Sustainability Targetsの詳細は、JTウェブサイトをご覧ください
<https://www.jti.co.jp/sustainability/>

温室効果ガス排出量の削減

2030年までに事業におけるカーボンニュートラル達成、
2050年までにバリューチェーン全体でGHG排出量のネットゼロを目指しています。



バタンガス工場(フィリピン)

太陽光パネル

バタンガス工場(フィリピン)では、東南アジア最大規模の1万7000枚あまりの太陽光パネルを導入し、CO2排出量を約15%、年間6,887トン削減しました。

児童労働を含む人権モニタリング

2025年までに児童労働を含めた人権モニタリングの実施および関連するKPIs、防止策、是正策を年次で実施しています



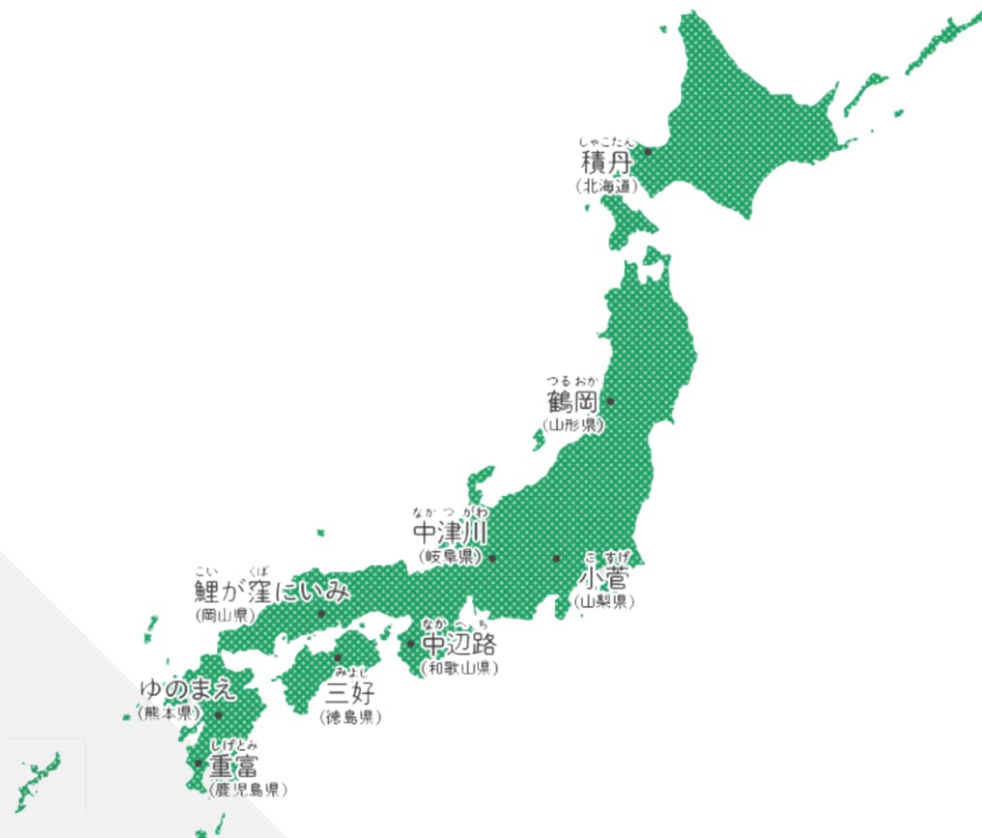
児童労働撲滅への取組み： ARISE※プログラム

2011年からARISEを通して、葉たばこ耕作コミュニティにおける児童労働の撲滅に取り組んでいます。2023年までに、66,825人の就学を支援しました。

※ ARISE: Achieving Reduction of Child Labor in Support of Education

コミュニティインベストメント

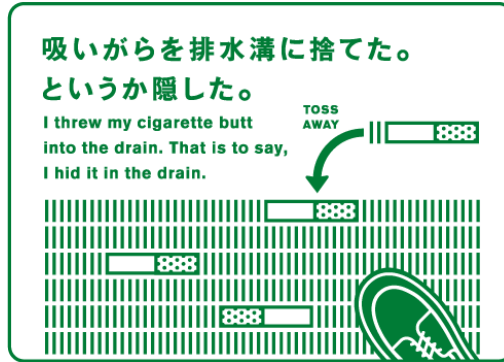
「格差是正」「災害分野」「環境保全」の3つを重点領域とし、事業を展開する国・地域社会の包摂的かつ持続可能な発展を目指しています。



JTの森

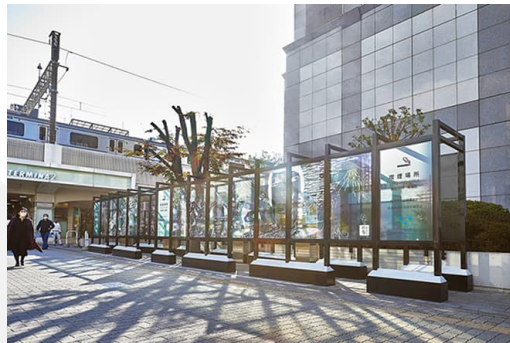
地域社会への貢献の一環として、全国9カ所で森林保全の取り組み「JTの森」を実施し、従業員自らも参画し元気な森を育てる活動を行っています。





マナー向上のための啓発活動

- ・マナー広告展開
- ・ひろえば街が好きになる運動



錦糸町駅北口喫煙所

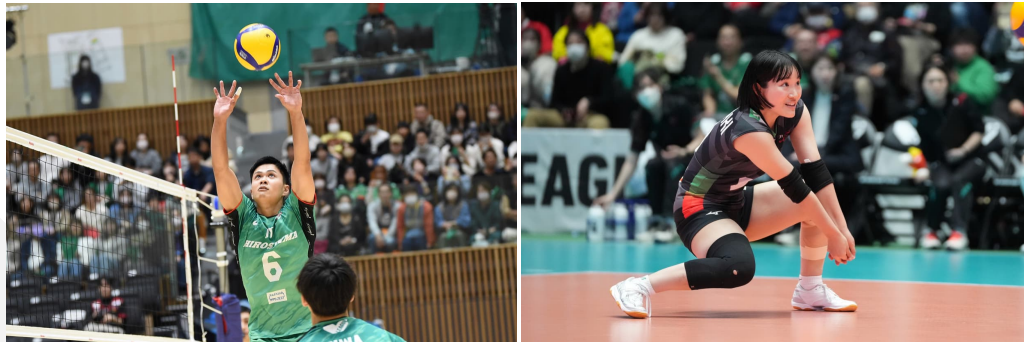


虎ノ門ヒルズ内喫煙所

たばこを吸われる方と 吸われない方、 双方に配慮した分煙の取組み

- ・分煙コンサルティング活動
- ・分煙環境整備

男女バレーボールチーム
JTサンダース広島／
JTマーヴェラス

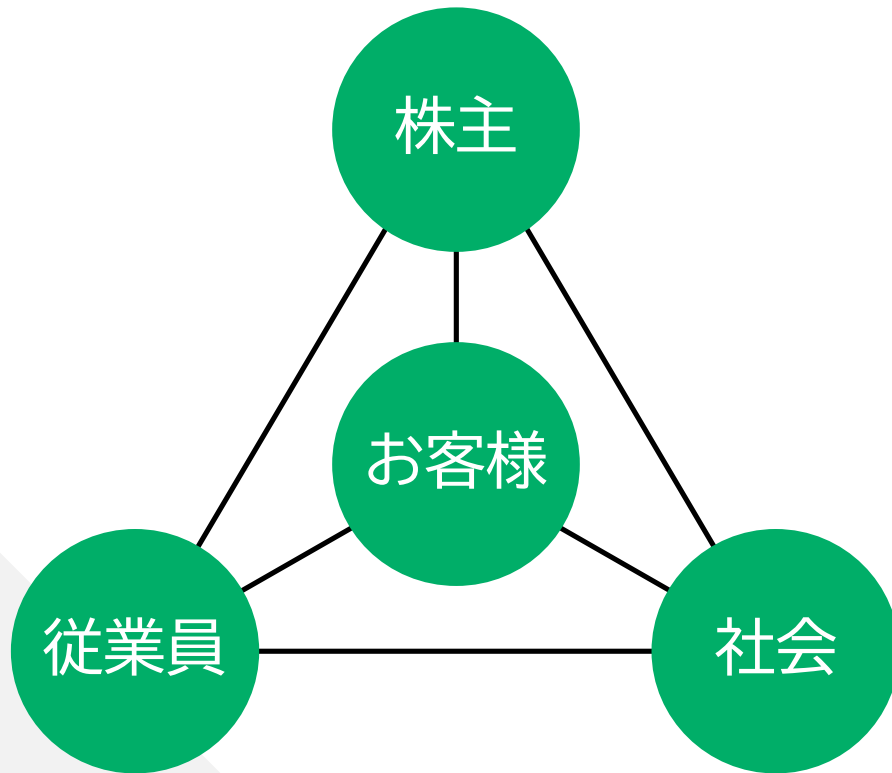


将棋日本シリーズ
JTプロ公式戦／
テーブルマークこども大会



バレーボールチームや将棋日本シリーズの活動は、
JT MOVIE CHANNEL、JT公式YouTubeでもご覧いただけます。

4Sモデル



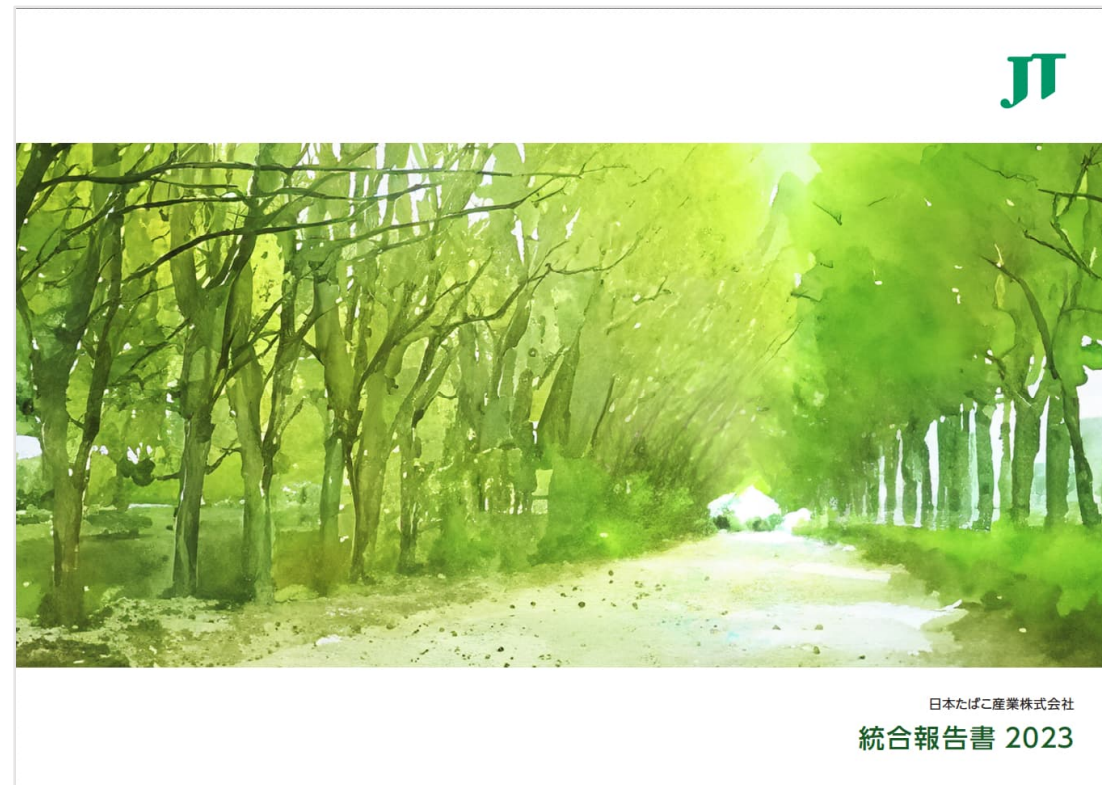
JT Group Purpose

心の豊かさを、
もっと。

(参考) 統合報告書のご紹介

株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆様に、JTグループの持続的な企業価値向上に向けた取組みについてより分かりやすくご理解いただくために、財務情報・非財務情報をあわせて掲載した統合報告書を発行しております。

最新版の「統合報告書2023」を2024年6月27日(木)15時に公開予定としておりますので、是非ご覧ください。



URL <https://www.jti.co.jp/investors/library/integratedreport/>

当社ホームページにて、JTグループをより深くご理解いただくためのIR情報を発信しております。

JT IRサイト

URL <https://www.jti.co.jp/investors/>



JT IRサイト 個人投資家の皆様へ

URL <https://www.jti.co.jp/investors/individual/>



JT IRサイト 用語集

URL <https://www.jti.co.jp/investors/individual/glossary/>



将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予期しています」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます(なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません)。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更(増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等)、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、お客様の嗜好・ニーズの変化及び需要の減少
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動
- (10) 自然災害及び不測の事態等